

大内かわら版

NO.9

NO.8につきまして7月15日発行が8月1日配布になってしまい申し訳ございません。

大内地区の「地域の教科書」

- ①暮らしに関することをまとめたもの（行事・役割、慣わしなど）
- ②地域の魅力・特徴などをまとめたもの

目的・効果

〔移住希望者〕大内のことを知ってもらい、知ったうえで移住してもらう。選んでもらう。

〔大内住民皆様〕・地域の魅力など認識の再確認をする。

・在住行政区以外の行事・団体などを知る。

〔出身者・若い世代〕地域の魅力などを情報発信し理解してもらう。

「地域の教科書」づくりの今後のスケジュール

大内地区全体と各行政区毎の情報を整理したものを「地域の教科書づくり推進会議」で提示（9月末頃予定）

会議で出した意見を反映

大内地区民の皆さんに12区毎にまとめた各々の在住区資料および大内全体のものをそれぞれ全戸配布。

→情報の過不足などありましたらご連絡ください。

情報修正&整理

第1段階（基本情報版）
「地域の教科書」
仮完成

第2段階へ



移住事業・交流事業とは？ <2>（地域の教科書について）

平成27年度みやぎ移住・交流推進会議の中で、大内地区へ講師に来られたNPO法人「テダス」（京都府南丹市）の田畑様に『集落の教科書』についてお聞きしました。また、地域住民の声を教えていただきました。

『集落の教科書（地域の教科書）』とは？
地域住民が伝えたいことをまとめたものです。住民の皆さんと「テダス」さんが共同制作されています。

なぜ「集落の教科書」を作ろうと思ったのか？

- 集落のひとつで子どもが1人も居なくなりました。移住者獲得のために地域情報を発信する冊子を作ろう考えた。
- 移住された方が短期転出者にならないために伝えたかった。
- 地域を出た子どもや孫に父ちゃんじいちゃん頑張ってるよ！帰っておいで！と地域を改めて自慢するために作ろうと考えた。

作ってみての感想

- 他の集落のルールを知ることができ、草刈りや区費の徴収方法など、自分の集落のルールを考え直すきっかけになった。
- 住んでいる住民にとって暗黙の了解であったものを具体的な数字・言葉などに明文化したことで、自分達の暮らしを見つめ直すとともに移住者および次世代の理解が早まった。



「集落の教科書」

大内各地区の出来事や催しなど (7~8月中旬)



西向(松沢)のひまわり
休耕田を利用したひまわり畑。きれいな花を咲かせていました。



大内保育所夏まつり 7/21
子供達の神輿や演技が行われ、その後出店や盆踊りが行われました。



愛宕神社(田林)夏祭り 7/22
地元有志による夜店や田林神楽の舞などが行われました。



「あたご会」(下町)に視察研修 7/23
石巻(北上、雄勝、河北、牡鹿)の「今だっちゃん! KOKO」の皆さんが「さわやか福祉財団」さんの紹介で視察に来られました。



大内保育所夏野菜クッキング 8/3
地域の皆さんと子供達と一緒に野菜たっぷりのピザ作りを行いました。



八重垣神社(北伊手)夏祭典 8/6
八重垣神社の夏祭典が行われ、旗掲揚などの神事が行われました。

かわら版で紹介しているものは「鹿狼」に未掲載のものです。インターネットで「丸森町大内地区」で検索すると出てくる「Facebook」の大内地区を観るとその他のものもご紹介します。



大内みらい屋(若もん)会議
大内のみらいを考え、今何ができるかなどを議題とした会議が行われています。



狼の木像が東北歴史博物館へ移送 8/7
9/16~11/19に行われる特別展「狼の木像(青葉・佐野両地区)」が展示されます。

ふるさと回帰支援センター みやぎ移住相談員の松尾様が大内地区へ

ふるさと回帰支援センターの松尾様が仙南の各市町村視察の一環で来町されました。短い時間でしたが大内地区を視察。夜は数名の皆さんと交流され、地域の現状などをお話されていました。また、まるもり移住・定住サポートセンター、上滝のクラインガルテン内にある「移住お試し住宅」を見学。住宅の実態や居心地などを体験され、丸森町の移住への取り組み方を感じて帰られました。



松尾様より大内地区の感想

「地域の方々の中に『地元愛』が根付いていることへ大変に心動きました。地域のこれからを真剣に見つめていらっしゃる事も伝わって参りました。また、大らかで頼もしい女性のパワーも感じています。地域として民泊を通じた学生との交流も大変素晴らしく感動しています」